

クリニックレター 2020年6月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック

TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

患者様へのお願い

- #) 待合スペースに自動血圧計を設置していますので、診察前にご自身での血圧測定をお願いいたします。看護師による問診時の血圧測定は、原則としておこないません。操作方法についてはご遠慮なくスタッフにお聞きください。
- #) 新型コロナ感染症拡大防止の為に、発熱その他感冒様症状の患者様は、来院前に必ずお電話で症状をお伝えください。
- #) 6月より、従来の診察手帳をカード型の診察券に変更いたします。次回予約日時等が毎回印字されるなど、利便性に優れた診察券ですのでご活用ください。

PCR検査と抗体検査

あっという間に4月5月が終わってしまった感があります。今年に入ってCOVID-19に対する緊張が徐々に高まり、緊急事態宣言を受けての様々な経済活動の自粛や、勤務形態の変化、小中高校の休校、自宅での遠隔授業、さらに、ステイホームの継続、など、これまでとはガラリと変わった日常生活が続くことで、肉体的精神的な疲労が重なっておられることと思います。5月下旬には緊急事態宣言が解除されましたが、もちろんのことウイルスが消滅したわけではなく、いったん下火になった感染拡大を再燃させないために、各自が十分な用心を続けていく必要があると考えます。

さて、今回は、コロナウイルスに関して、「PCR検査」と「抗体検査」について、ご説明します。

PCRとは、簡単に言うと、「ウイルスの遺伝子の一部を化学的に増幅させることでウイルスの存在を確認する」検査です。現在、新型コロナウイルスに対するPCR検査の陽性率は70%といわれています。マスコミの報道などからは、PCR検査が絶対的に正しいというようなイメージもあり、「PCR検査が陽性から陰性になっていたのに再発した」というようなニュースも散見しますが、陽性率70%ということは30%の偽陰性、すなわち、新型コロナウイルスに感染していてもPCRで陰性と判断される可能性が10回の検査のうち3回はあるということになります。また、PCRで陽性反応が出た場合の偽陽性率は1%とされていますので、陽性者100名のうち一人は、実は非感染者である、という可能性があるわけです。PCR検査については、このことを理解したうえで、報道などを見聞きする必要があります。

一方、ヒトにとっての異物、たとえば、ウイルスや細菌、花粉などが体内に入ると、ヒトはこれに対して「抗体」という物質を作ります。抗体は「免疫グロブリン」という蛋白質で、IgA、IgM、IgE、IgGなどの種類がありますが、このうち、IgM抗体はウイルス感染初期に作られる抗体で、感染後1-2週間でIgG抗体が



作られます。

抗体には、ウイルスや毒素の活性を弱める「中和作用」、アレルギー反応などを引き起こす「炎症作用」、貪食細胞に取り込まれやすくする「オプソニン化作用」、補体を活性化して細胞を攻撃する「細胞融解作用」などがありますが、新型コロナウイルスに感染して作られる抗体は、おそらく「中和抗体」であろうと考えられています。但し、抗体陽性者が二度とコロナウイルスに感染しない、というエビデンスは、まだ得られていません！

PCR検査は、鼻や咽喉の粘膜を擦過しておこなわれるため、検査の際のウイルス飛散による医療関係者の感染というリスクがあることや、検査結果が出るまでに24時間以上かかる、というデメリットがある一方、抗体検査は少量の血液で検査が可能で、また、15分程度という短時間で結果がでる為、積極的に抗体検査をおこなう国や施設もあるようです。しかし、感染初期の診断にIgM抗体を測定することについては、感度にはばらつきがあることなどから、これのみでの診断は難しいというのが、現時点でのコンセンサスです。一方、IgG抗体が陽性であった場合「過去にコロナウイルスに感染していた」確率は95%以上とされており、過去の感染の有無を調べる検査としては有効であると考えます。ただし、「IgG抗体が陽性であれば新型コロナウイルスに感染しないのか」というと、これについてはまだ充分な知見が得られていない、というのが事実です。

今回、当クリニックでは、コロナウイルス抗体検査キット（IgGのみ）を試験的に5セット購入いたしました。保険適用がないため、1回7000円（税別）の費用がかかりますが、検査をご希望の方は、スタッフまでお申し出ください。

抗体検査につきましては、今後の知見の集積や、患者様のご要望を勘案しながら、必要であれば、広くご提供していこうと考えています。

コロナ疲れを乗り切りましょう

左のページにも書いたように、今年初めから続いた緊張状態がここへ来て少しゆるんだことで、かえって疲れがどっと出てきた、という患者様も多くおられます。

漢方では、補中益気湯(ホウキョウキトウ)や十全大補湯(ジュウテンダホトウ)休め、人参養栄湯(ニンジヨウエイトウ)などの疲労回復作用をもつ薬や、四逆散(シヤクサン)や香蘇散(コウソサン)などの気の巡りを良くする薬をもちいて治療しますが、なによりも、十分な睡眠と適度な運動、バランスの良い食事が大事であることは言うまでもありません。また、疲労による免疫力の低下で、帯状疱疹などを発症するリスクもありますので、50歳以上で帯状疱疹のワクチン接種を受けておられない方は、今のうちに予

お車で来院される患者様へ

歩行者や近隣の方の迷惑になりますので、駐車場の指定されたスペース以外、及び、クリニック周辺の道路には、絶対に車を駐車されないようお願いいたします。駐車場でのアイドリングもおやめください。

クリニックレターのバックナンバーをお読みにになりたい方は、クリニックのホームページをご覧ください。